

**福島ロボットテストフィールドを活用した  
無人航空機利活用事業者認定とパブリックセーフティのあり方に関する調査事業  
仕様書**

## **1 事業の目的**

来年4月に全面開所予定の福島ロボットテストフィールド（以下「RTF」という。）の施設・設備を用いて、無人航空機の利活用分野におけるガイドラインや認定試験のあり方等について検討するとともに、国際イベント等における無人航空機の飛行に関してパブリックセーフティに関するガイドラインと識別・運航管理のあり方等について検討する。

これにより RTF が無人航空機の国内主要拠点として、単なる試験場としての施設・設備面での充実のみならず利活用分野での認定面あるいは識別を加えた運航管理面での機能を備えることを目指す。

## **2 業務委託内容**

### **(1) 委託事業名**

福島ロボットテストフィールドを活用した無人航空機利活用事業者認定とパブリックセーフティのあり方に関する調査事業

### **(2) 業務の内容**

#### **①小型無人機を用いたプラント点検分野における RTF を活用した事業者認定制度のあり方検討**

福島 RTF の試験用プラントと小型無人機を活用することが有効であるプラント点検事業に関する検討を実施し、必要な運用ガイドライン・チェックリストを作成するとともに RTF の試験用プラントを活用したプラント点検事業者認定のための教育カリキュラム案を作成し、福島 RTF と業界団体の連名で公表すること。

#### **②福島浜通り地域における無人航空機の警備分野への活用における RTF を活用した事業者認定制度のあり方検討**

福島浜通り地域において無人航空機を活用することが有効である警備事業に関する調査を実施し、必要な運用ガイドライン・チェックリストを作成するとともに RTF を活用した警備事業者認定のための教育カリキュラム案を作成し、福島 RTF と業界団体の連名で公表すること。

#### **③国際イベント等における小型無人機の飛行に関して RTF を活用した事業者認定制度のあり方検討**

国際イベント等で無人航空機を活用する報道、警備事業などに関する検討を実施し、必要な運用ガイドライン・チェックリストを作成するとともに RTF を活用した飛行事業者認定のための教育カリキュラム案を作成する。カリキュラムに基づく実証を行い関係者に公開するとともに福島 RTF と業界団体の連名で公表すること。

#### **④国際イベント等における RTF を活用したパブリックセーフティのあり方検討**

国際イベント等において福島 RTF を活用したパブリックセーフティ確保のための手段の検討を実施し、必要な運用ガイドライン・チェックリストを作成する。RTF を活用した運航管理と識別等によるパブリックセーフティ手段の実証を行うこと。実証にあたっては、2機程度の無人航空機と RTF の

UTM（運航管理システム）を活用すること。関係省庁に公開するとともにガイドラインのみ福島 RTF と業界団体の連名で公表すること。

**⑤その他独自提案**

上記①②③④補完する飛行試験や検討について独自に企画し、提案すること。

**(3) 実施期間**

契約日から令和2年2月29日

**(4) 納品成果物**

成果報告書 紙媒体3部（正本1部、副本2部）、電子媒体1部（CD-ROM等）